

産業連関表からみる京丹後市産業の特徴

資料3

○市内生産額 3,283 億円

○粗付加価値 1,721 億円

○生産額が大きな産業（37部門別）

⇒市内生産額が全体の3%以上の11部門で、全体の74.0%（2,429億円）を占める。

部門	市内生産額 (億円)	割合	粗付加価値 (億円)	割合
35 輸送機械	493.4	15.0%	114.6	6.7%
64 医療・福祉	309.8	9.4%	207.3	12.0%
51 商業	296.1	9.0%	206.4	12.0%
67 対個人サービス	285.0	8.7%	140.8	8.2%
41 建設	227.6	6.9%	112.1	6.5%
55 不動産	193.2	5.9%	168.6	9.8%
61 公務	160.9	4.9%	117.9	6.8%
63 教育・研究	146.1	4.5%	108.0	6.3%
01 農林漁業	109.7	3.3%	54.6	3.2%
30 生産用機械	108.7	3.3%	50.7	2.9%
15 繊維製品	98.4	3.0%	39.2	2.3%

○機械金属業（機械金属業に当てはまる部門の合計額）

	市内生産額 (億円)	割合	粗付加価値 (億円)	割合
機械金属業	839	25.6%	259	15.1%

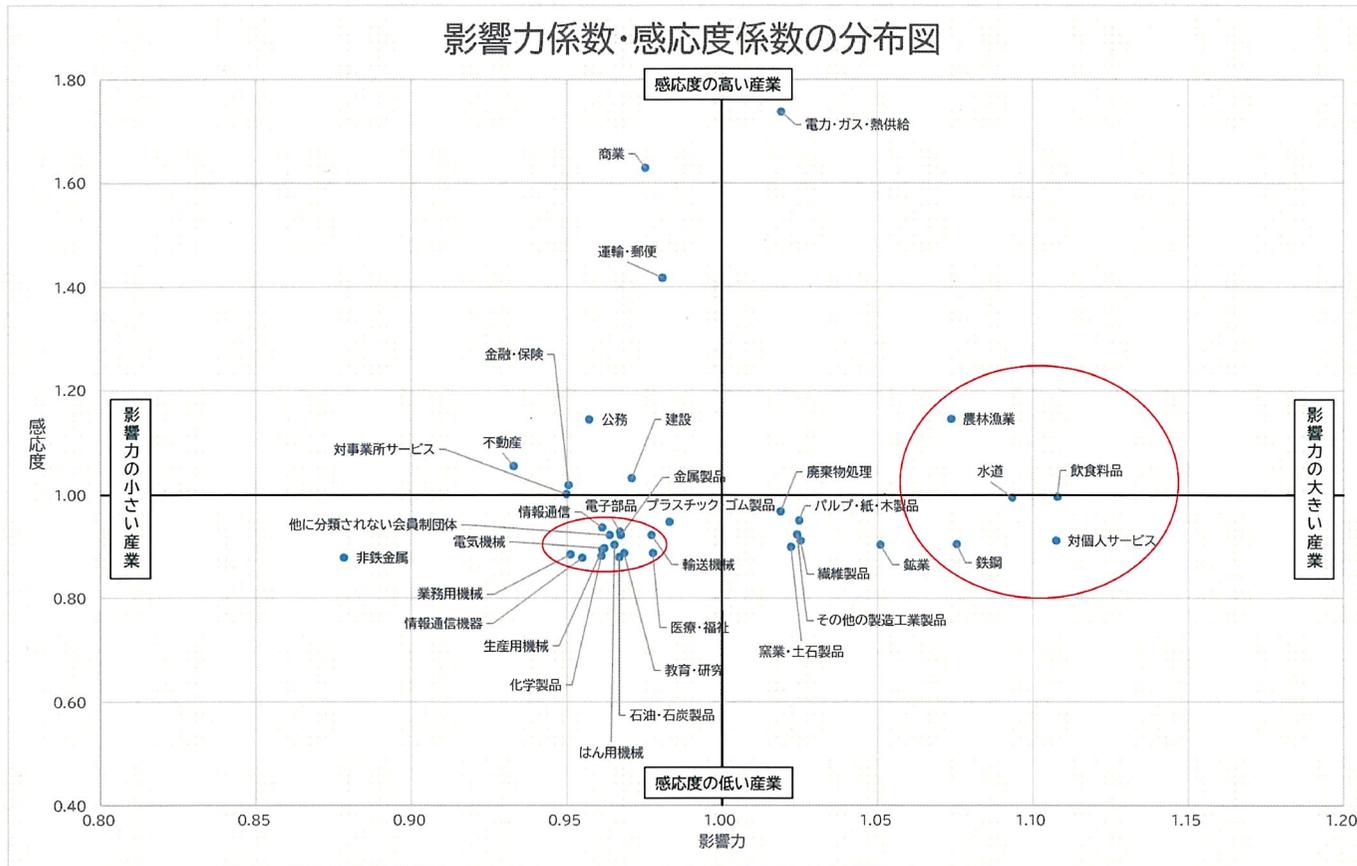
○対個人サービスの主な内訳

	市内生産額 (億円)	割合	粗付加価値 (億円)	割合
671 宿泊業	151.5	4.6%	70.8	4.1%
672 飲食サービス	74.8	2.3%	29.2	1.7%
673 洗濯・理容・美容・ 浴場業	22.3	0.7%	15.1	0.9%

影響力・感応度の高い産業（他産業に影響を与える産業、他産業から影響を受ける産業）

➡ 飲食料品、対個人サービス、農林漁業、水道、鉄鋼などが影響力（他産業の生産を誘発する効果）の大きな産業。
農林漁業は感応度も高い（他産業から受ける影響も大きい）

➡ 輸送機械、生産用機械、はん用機械等の機械金属業関連の多くは、影響力、感応度ともに小さい産業



影響力（他産業の生産誘発効果）の大きい産業（上から影響力の大きい順）

部門名(37部門別)	市内生産額(億円)		→	主な内訳(101部門)
11 飲食料品	84.3	(2.6%)		
67 対個人サービス	285.0	(8.7%)		宿泊業、飲食サービス
47 水道	5.0	(0.2%)		
26 鉄鋼	48.5	(1.5%)		
01 農林漁業	109.7	(3.3%)		耕種農業、畜産
06 鉱業	9.8	(0.3%)		
15 繊維製品	98.4	(3.0%)		
16 パルプ・紙・木製品	16.6	(0.5%)		
39 その他の製造工業製品	8.8	(0.3%)		
25 窯業・土石製品	54.2	(1.6%)		
46 電力・ガス・熱供給	88.4	(2.7%)		

耕種農業、畜産、食料品、飲料、宿泊業、飲食サービスの特徴

	影響を与える主な産業
耕種農業	農業サービス、自家輸送、商業、電力、自動車整備・機械修理、建設補修、紙加工品、金融・保険、不動産仲介及び賃貸
畜産	農業サービス、 耕種農業 、商業、自家輸送、電力、道路輸送、 食料品 、自動車整備・機械修理、建設補修
食料品	商業、 耕種農業 、電力、 畜産 、自家輸送、農業サービス、不動産仲介及び賃貸、道路輸送、自動車整備・機械修理
飲料	耕種農業 、商業、 食料品 、電力、自家輸送、金融・保険、農業サービス、その他の金属製品、紙加工品
宿泊業	電力、廃棄物処理、商業、自家輸送、 食料品 、水道、 耕種農業 、 飲食サービス 、洗濯・理容・美容・浴場業
飲食サービス	商業、 食料品 、電力、 耕種農業 、廃棄物処理、水道、不動産仲介及び賃貸、 飲料 、自家輸送

	影響を受ける主な産業
耕種農業	畜産 、 食料品 、 飲料 、 飲食サービス 、ゴム製品、繊維工業製品・化学繊維、宿泊業、農業サービス、その他の対個人サービス
畜産	食料品 、なめし革・革製品・毛皮、農業サービス、 飲食サービス 、 耕種農業 、 宿泊業 、 飲料 、介護、研究
食料品	飲食サービス 、なめし革・革製品・毛皮、 飲料 、 宿泊業 、漁業、化学最終製品（医薬品を除く。）、介護、畜産、社会保険・社会福祉
飲料	飲食サービス 、 宿泊業 、漁業、 食料品 、介護、その他の対個人サービス、社会保険・社会福祉、医療、 畜産
宿泊業	-
飲食サービス	宿泊業 、介護、教育、医療、社会保険・社会福祉、インターネット付随サービス、通信、情報サービス、民生用電気機器

上記6部門は、他産業への生産誘発効果が相対的に高く、相互に影響し合う構造となっています。特に農業・食品加工と宿泊業・飲食サービスなどの観光関連産業は、「食」をとおして密接に関係しています。

機械金属業について

○機械金属業（機械金属業に当てはまる部門の合計額）

	市内生産額 (億円)	(割合)	粗付加価値 (億円)	(割合)
機械金属業	839.4	25.6%	259	15.1%

・特徴

- ・市内総生産の25%を占める基幹産業
- ・生産額839.4億円のうち輸移出が787億円。原材料を域外から調達し、市外向けに生産・出荷する「かせぐ産業」
- ・市内の他部門からの影響を受けにくく、また他部門への影響も限定的（需要の大部分が市外にあり、市内産業との結びつきや波及効果は限定的。）

・需要の拡大に向けて

- ➡市外需要の確保・拡大（新規販路の開拓、宇宙産業等新分野への販路開拓など）
- ➡市内需要の獲得（織物業などとの異業種間連携による需要の創出など）
→市内産業への波及効果の拡大

○織物業

部門		市内生産額 (億円)	(割合)	粗付加価値 (億円)	(割合)
15	繊維製品	98.4	3.0%	39.2	2.3%

・特徴

- ・市内生産額は上位に位置している基幹産業の一つで、影響力（他産業の生産誘発効果）も一定大きい産業。
- ・市内生産額98.4億円のうち輸移出が93.3億円。機械金属と同様、原材料を域外から調達し、市外向けに生産・出荷する「かせぐ産業」
- ・波及先の主な産業は、「電力」「商業」「輸送・郵便」
- ・営業余剰がマイナスとなっており、低単価や利益率の低さに課題

・需要の拡大に向けて

- 付加価値の向上、
- インバウンド・海外富裕層向け商品の展開など